



宮崎の感染者数は全国3位 新規感染者数の増加が止まらない

厚生労働省2024年7月19日報告より



はじめに **コロナは決して収束していない**

2023年5月に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の位置づけが季節性インフルエンザと同じ「5類感染症」に引き下げられた。

日常マスクを着用する光景も少なくなってきた

以前のような感染への「恐怖」も薄れてきている

このような状況により、新型コロナウイルスは進化（変異）しながら感染を拡大している



**変** コロナは変異して強くなってきている

現在オミクロン株の亜系統「JN.1」から生まれた株「KP.3」「LB.1」「KP.2.3」が世界で流行している

「JN.1」はオミクロン株「BA.2」系統と比較しウイルスが侵入するときに必要なたんぱく質（スパイク蛋白）のアミノ酸変異が30か所以上もあるとされる「BA.2.86」からの株で世界保健機構（WHO）から「**注目すべき変異株**」に指定されている

米疾病管理予防センター（CDC）の報告では、「KP.3」が主流となってきているとのこと

これらの変異株は、元の主流株「JN.1」株より強い伝搬力と抗体回避力を有している\*1

「JN.1」系統に対応できるワクチンがのぞまれる（ノババクではFDA\*2に申請中）



**5 類感染移行後の感染位置付け・ウイルスの脅威は変わらない**

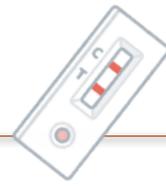
厚生労働省ホームページ「新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の対応について」

		位置付け変更前	位置付け変更後（2023年5月8日）
		感染症法に基づき外出自粛を求められる期間	外出を控えることが推奨される期間（個人の判断）
新型コロナウイルス陽性者	有症状	発症日を0日目として、発症後7日間経過するまで	発症日を0日目として、発症後5日間経過するまで
	かつ、症状軽快から24時間経過するまでの間		
	無症状	<ul style="list-style-type: none"> <li>5日目の抗原定性検査キットによる陰性確認（次項参照）</li> <li>検査を行わない場合は7日経過するまで</li> </ul>	検査採取日を発症日（0日）として、5日間経過するまで
濃厚接触者		5日間の外出自粛	なし

\*1 東京大学医科学研究所コンソーシアム（G2P-Japan）の研究より \*2 FDA：米食品医薬品局



# コロナ抗原検査は発症2日以降に



発症後すぐにはウイルスは検出されにくい

変異株は、ある程度の免疫力を持つ人に感染すると、オリジナル株より増殖スピードが遅い

インフルエンザウイルスは増殖スピードが速いので、発症後すぐ検査するのが望ましい

同時検査キットの場合発症後のタイミングにより検査が偽陰性になる可能性がある

初期検査でインフルエンザ、コロナ陰性の場合、コロナ検査を2日以上経過してもう一度実施することが望ましい

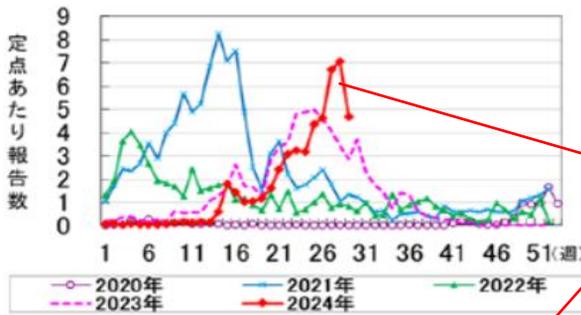
抗原検査はPCR法と比較して感度は低いが、抗原検査で陽性となるということはウイルス量が多く、人に感染させる量を排出していると考え、外出自粛の「陰性確認」は抗原検査キットが推奨される



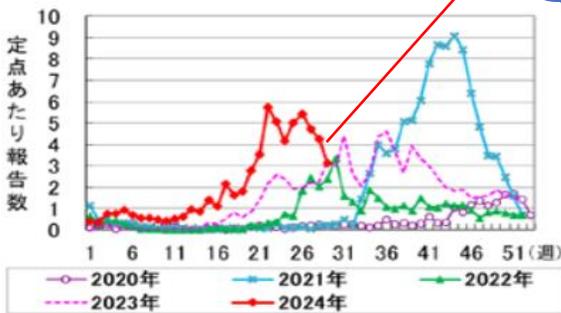
## 気を付ける感染症はコロナだけではない

宮崎県感染症情報センターより

RSウイルス感染症 発生状況

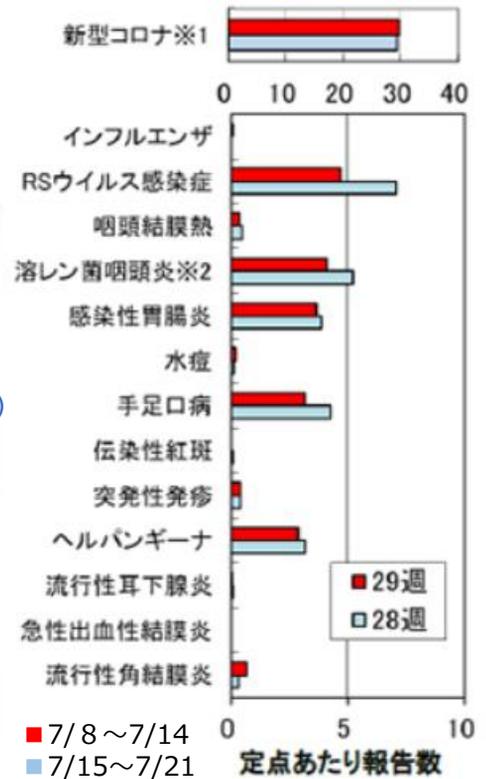


手足口病 発生状況



感染者の多い時期がズれてきている

《前週との比較》



コロナ感染対策の間にウイルスや細菌に感染する機会が少なくなったことで免疫力が低下し感染しやすくなっている

季節に関係なく様々な感染症が増加している

特に小児は外で元気に遊び、手洗いなどの感染対策を行いながら、免疫力を高めていくことが大切



コロナ感染で入院化した患者さんは、感染後3年経過しても健康への悪影響が残るとのこと

経口抗ウイルス薬の投与とワクチン接種が予防策となります